



自分は大丈夫！と思えること

園長 高橋 章子

「こうきた2020」が終了し、園の生活リズムも安定して、子どもたちは自分のやりたい遊びや友達と一緒に活動する面白さを実感しながら日々の生活を過ごしています。

年長組は、10月中旬から始まった就学時健診で、いよいよ小学校進学を意識する季節となってきました。

先日、高円寺北子供園を会場として、小学校の先生方との研修がありました。テーマは「学びをつなぐスタートカリキュラム」です。スタートカリキュラムとは、子どもたちの入学当初、幼児期の生活に近い活動と児童期の学びを織り交ぜながら園での豊かな学びと育ちを踏まえ、小学生になった子どもたちが主体的に自分を発揮していくことができるような場面を意図的に作っていくことです。入学して、いきなり45分間の授業中心の学校生活を始めていくのではなく、一人一人の児童が安心して学校で生活を進め、意欲をもって学んでいくことができるように、その環境作りを大切に考えていくものです。

今回の研修では、小学校の先生方から、入学した子どもたち一人一人が自己肯定感をもち安心して生活が進めていくことができるよう、そのための環境作りや先生や友達との信頼関係を丁寧に育んでいきたい。という意見が多く聞かれました。

子供園は、これまでと同様に、一人一人が自信と意欲をもち、生活を進めていくことを大切にしていきます。“自分に自信をもつ・意欲をもつ”という言葉の中には、「自分のやりたいことを見つけ、それを言葉や行動で表現しようとする事」「やってみようとする事に、粘り強く取り組もうとすること」「自分とは違う考えや思いを受け止めようとする事」「友達と関わって協力して取り組んでいこうとすること」などの力が含まれます。どれも、日々の園生活で大切にしていることばかりです。たんぽぽ組はたんぽぽ組なりの力で、にじ組はにじ組なりの力で、自分を信じ生きていく力をこの幼児期からしっかりと育てていかなくてはなりません。園では、集団の場だからこその教育に努めていきます。そしてご家庭では、愛情をたっぷりかけながら、日々の生活を大切にお過ごしください。その中で、自分のことは自分でする・自分で考える・自分を大切にするなど、人としての“根っこ”の部分を育むことで、子どもたちは、「自分は大丈夫！」と大きくなっていきます。子育てはなかなか大変なもの。困ったことがあれば、園にご相談下さい。一緒に考えて一緒に笑って、一緒に子どもたちを育てていきましょう。

《11月の保育》

★年少組

「**こうきた2020**」を通して、体を動かすことの楽しさをたくさん感じた子どもたちです。その後は園庭や体育館でしっぽ取りをして遊ぶことを楽しんでいます。ルールのある遊びの楽しさを少しずつ感じ始め、最後まで逃げ切ったり、しっぽを取ったりする嬉しさを味わいながら元気に走っています。今月も、園庭や校庭で遊ぶ時間を大切に、元気な体作りをしていきたいと思います。

また、自分のやりたい遊びをじっくり楽しむと共に、友達と関わる楽しさにも気付いていけるようにしていきたいと思います。そして、友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いを言葉にして伝えようとする、友達の思いに気付こうとすることを大切にしていきます。

★年長組

「**こうきた2020**」を経て、体を動かして遊ぶことがますます楽しくなっています。毎日のようにリレーやドッジボール、巧技台を使ったサーキットなど、いろいろな運動遊びを楽しむ中で、身のこなしが軽くなっていく姿や、体の使い方を意識して取り組もうとしている姿が見られます。今月も、天気がよい日には、すすんで戸外へ出て遊び、動きの中で友達と互いに刺激し合ったり、力を合わせたりして遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

また、学級のいろいろな友達と関われるよう、グループを新しくしました。飼育物の当番活動もみんなで見直し、今までしていなかったカメの世話もすることに決めました。グループでゲームや当番活動に取り組む中で、互いに思いを出したり、受け止めたりし、友達の考えや気持ちに気づき、一緒に考えながら生活を進めていく楽しさを感じられるようにしていきます。

さらに、身近な秋の自然に興味をもち、触れたり調べたり、遊びに取り入れたりして親しめるようにしていきます。

【自然園ニュース】

自然園で年長組が、水やりや周囲の草取りなどをして世話をしてきたサツマイモが育ちました。年長組は長く生い茂ったサツマイモのツルを「よいしょ！よいしょ！」と掛け声をかけながら力を込めて引っ張りました。すると、サツマイモが次々と見えてきて、みんなは大喜び。その後は手で掘りおこし、土の感触も楽しみながら収穫をしました。

年少組は、お兄さんお姉さんが収穫している様子をじっと見てから、「やりたーい」と言い、年長組をまねながらサツマイモのツルを引きました。子供園で行う初めてのイモの収穫に「わー、お芋が出てきた！」とうれしい笑顔となりました。

自然園には子どもたちのにぎやかな歓声が響き渡り、池のザリガニも大きなカメたちやコイたちもその声にびっくりしていたかもしれません。

その後は、各学級でイモを眺めては「おとうさんお芋、こっちは赤ちゃんお芋」と言ったり、サツマイモを製作してお芋屋さんごっこをしたりして楽しさは続きました。

後日ふかしたサツマイモは、少ししっとりして甘く、みんなでおいしく味わいました。

《園からの連絡》

もりもり週間 11月2日(月)～11月6日(金)

《野菜や果物に元気をもらおう!》

朝、夕は涼しくなり、秋の訪れを感じる今日この頃です。

秋は『食欲の秋』と言われるように、美味しいものがたくさん出始めます。旬の美味しい物を食べて、『秋』をたくさん感じていきましょう。

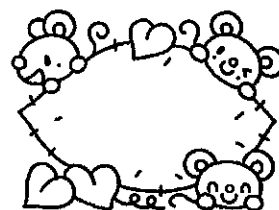
さて、秋の野菜と言えば・・・芋類、根菜類、きのこ類などがあります。

特にサツマイモは、栄養が豊富で、サツマイモ100グラムの中には食物繊維が1.7グラム、カリウムはご飯の18倍、そしてビタミンCは、リンゴの10倍以上も含まれているとのことです。

今月は、いよいよ子どもたちが畑で育て、収穫したサツマイモをみんなでいただく予定です。自分達で育てたサツマイモは、栄養が摂れるだけでなく、格別な味わいになると思います。

サツマイモの他に、野菜では通年産地を変えながら出荷されている人参も、秋から冬にかけてのものが、甘味や栄養成分から見ると美味しい時期だそうです。

また、秋は『実りの秋』とも言われています。ぶどうや梨、リンゴなど美味しい果物や栗などもたくさんお店に並んでいますね。実りの秋をちょっとだけ意識しながら、食事をするのも楽しい時間になるのではないのでしょうか。



📖 今年度の読み聞かせの会が始まりました! 📖

毎年、月ごとに素敵な絵本を読んでくださっていた読み聞かせ会の方を、今年度はようやく10月にお招きしました。

日ごろ子どもたちは、担任の先生の絵本の読み聞かせを楽しんでいます。また、本園の絵本貸出しの日には、保護者の皆様のご協力を得ながら家庭でも楽しむ経験を重ねています。

当日の子どもたちは、読み聞かせの方がお話くださる絵本や素話の世界に入りこみ、聞き入っていました。担任が読むお話とは違う、ちょっと難しい言葉も出てきていましたが、新しいお話の世界を感じる機会になっていました。

このような経験を重ねることは、子どもたちに、お話の世界に親しみ豊かな心を育み、様々な人の話を落ち着いて聞く気持ちにつながります。

11月は読書にも適した秋の季節です。ご家庭でも、おうちの方のかけがえのない生の声で、子どもたちへの読み聞かせのひと時をお楽しみください。